第５　特定施設の構造等変更届

〔法〕(特定施設等の構造等の変更の届出)
第７条　第５条又は前条の規定による届出をした者は、その届出に係る第５条第１項第４号から第９号までに掲げる事項、同条第２項第４号から第８号までに掲げる事項又は同条第３項第３号から第６号までに掲げる事項の変更をしようとするときは、環境省令で定めるところにより、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

次の届出事項を変更しようとする場合は、工事着手の 60 日前までに届け出る必要があります。

・特定施設の構造又は使用の方法（別紙１、２に記載している内容）
・特定施設の汚水等の処理の方法（別紙３に記載している内容）
・特定施設の排出水の汚染状態及び量（別紙４に記載している内容）
・特定施設の用水及び排水の系統（別紙６に記載している内容））

ア　様式第１

第４特定施設設置届出を参考に、同様に記載してください。

なお、変更に係る水濁法は第７条によります。他の条項は２重線で消してください。

イ　別紙

変更の内容が明確となるよう記載し、添付する書類に○を付けてください。

ウ　変更説明書

岡山県では、施設等変更について、その内容が分かるように〔変更説明書〕の添付するようにしています。設置届出から変更する目的、変更の内容を簡潔に記載してください。変更内容は、変更前と変更後で対比させて記載してください。

エ　別紙１　（特定施設の構造）

変更箇所に係る「変更前の用紙」と「変更後の用紙」を添付してください。

変更前の用紙のうち「設置年月日」については、施設の設置を実際に着工した日時となります。

また、変更後の用紙は、既設・新設・撤去等が分かるように記載してください。

オ　別紙２（特定施設の使用の方法）

変更箇所に係る「変更前の用紙」と「変更後の用紙」を添付してください。

変更後の用紙は、既設・新設・撤去等が分かるように記載してください。

カ　別紙３　汚水等の処理の方法

変更箇所に係る「変更前の用紙」と「変更後の用紙」を添付してください。設置届出において、「処理の系統」や「集水及び導水の方法」など、添付資料のみが変更となる場合は、別紙３は不要ですが、変更内容が分かる資料を添付してください。

キ　別紙４　排出水の汚染状態及び量

変更箇所に係る変更前の用紙と変更後の用紙を添付してください。

ク　別紙６　用水及び排水の系統

変更箇所に係る変更前の用紙と変更後の用紙を添付してください。変更後の用紙には、変更部分を赤字で記載してください。また、最大水量（㎥／日）、通常水量（㎥／日）に係る数字は、変更前と変更後を２段書きとしてください。

様式第１（第３条関係）

記入例

特定施設設置（~~使用~~，変更）届出書

令和 ●● 年 ● 月 ●● 日

岡山県知事
● ● ● ● 殿

届出者

住所 岡山県●●市●●町●丁目●●番地の●
氏名 株式会社● ● ● ●
代表取締役 ●● ●●
電話番号 086-○○○-○○○○

水質汚濁防止法~~第５条第１項又は第２項（第６条第１項又は第２項~~，第７条）の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		●●養豚場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		▲▲市▲▲町▲▲－▲	※受理年月日	
第５条第１項関係	特定施設の種類 有害物質使用特定施設の該当の有無	１の２ イ 豚房施設 有 □ 無 ☑	※施設番号	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※審査結果	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	~~別紙１の２のとおり。~~	※備 考	
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	~~別紙５のとおり。~~		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第１（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	□　有害物質使用特定施設 □　有害物質貯蔵施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

備考

１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。
３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
５　※印の欄には、記載しないこと。
６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格Ａ４とすること。
９　氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

別　紙

届　出　事　項　内　容

事　業　場　名　　：株式会社　○　○　○　○

担 当 者 氏 名　　：生産事業部生産課　○○　○○

（電話）　（０８６）○○○－○○○○

届 出 の 概 要　　肥育豚舎を新たに１頭増築する。
汚水処理施設に凝集剤添加装置と固液分離機を新設する

事　　項		添付の有無
特定施設の構造	別紙　1	(有)　：　無
特定施設の使用の方法	別紙　2	(有)　：　無
汚水等の処理の方法	別紙　3	(有)　：　無
排出水の汚染状態及び量	別紙　4	(有)　：　無
排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙　5	有　：　(無)
用水及び排水の系統	別紙　6	(有)　：　無
工程別排水系統図	添付資料	(有)　：　無
特定排出水、冷却水等の総括表	添付資料	有　：　(無)
特定事業場内排水系統図	添付資料	(有)　：　無
総量規制基準総括表　*総量規制基準適用事業場の場合は有に○*	*（添付資料）*	有　：　(無)
特定事業場の周辺見取図	添付資料	有　：　(無)
特定施設の構造図	添付資料	(有)　：　無
汚水処理施設の設計計算書	添付資料	有　：　(無)
汚水処理施設の構造図	添付資料	有　：　(無)
その他　（　　）		
（　　）		

添付のないものは、前回の届出（令和○○年○月○日付け）と同じである。

変更説明書

<table>
<tr><td>変更の目的</td><td>1　肥育豚舎を増築する。
2　汚水処理施設の改善を行い、排出水の水質向上を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">変更の内容</td><td>該当する項に○
○　特定施設の構造の変更（別紙１に記載している内容）
○　特定施設の使用の方法の変更（別紙２に記載している内容）
○　汚水等の処理の方法の変更（別紙３に記載している内容）
○　排出水の汚染状態及び量の変更（別紙４に記載している内容）
○　用水及び排水の系統（別紙６に記載している内容））</td></tr>
<tr><td>1　肥育豚舎を１棟増築。これに伴う原材料、汚水量等が増加。
汚水量　9.2㎥／日（変更前）　→　12.2㎥／日（変更後）
2　汚水処理施設にスクリーンの設置
振動篩の後に凝集剤添加装置と固液分離機を設置
（変更前）
汚水→振動篩→投入槽→最初沈殿槽→曝気槽→最終沈殿槽→消毒槽→放流
（変更後）
汚水→振動篩→凝集剤添加装置（新設）→固液分離機(新設)→投入槽→最初沈殿槽→曝気槽
→最終沈殿槽→消毒槽→放流</td></tr>
<tr><td>その他特記事項</td><td></td></tr>
</table>

別紙1

変更後

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場における施設番号	肥育豚舎１、２、３	繁殖豚舎
特定施設号番号及び名称	１の２　イ　豚房施設	１の２　イ　豚房施設
型　　式	すのこ式（糞尿分離式）	すのこ式（糞尿分離式）
構　　造	鉄骨造	鉄骨造
主　要　寸　法	縦●●m×横●●m=●, ●●●㎡ 畜房の合計面積▲, ▲▲▲㎡ ３棟の畜房の合計面積■, ■■■㎡	縦●●m×横●●m=●, ●●●㎡ 畜房の合計面積▲, ▲▲▲㎡
能　　力	１棟：肥育豚２５０頭 ３棟の合計：肥育豚７５０頭	繁殖母豚７０頭
配　　置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	~~令和　年　月　日~~	令和　○　年　○　月　○　日
工事着手予定年月日	令和　●　年　●　月　●　日	施設の着工日を記載してくださ
工事完成予定年月日	令和　●　年　●　月　●　日	令和　年　月　日
使用開始予定年月日	令和　●　年　●　月　●　日	令和　年　月　日
その他参考となるべき事項	同型の豚舎３棟 既設（肥育豚舎１、肥育豚舎２） 新設（肥育豚舎３）	

備考

1　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
2　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙1

変更前

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場における施設番号	肥育豚舎１、２	繁殖豚舎
特定施設号番号及び名称	１の２　イ　豚房施設	１の２　イ　豚房施設
型　　式	すのこ式（糞尿分離式）	すのこ式（糞尿分離式）
構　　造	鉄骨造	鉄骨造
主　要　寸　法	縦●●m×横●●m=●, ●●●㎡ 畜房の合計面積▲, ▲▲▲㎡ ２棟の畜房の合計面積■, ■■■㎡	縦●●m×横●●m=●, ●●●㎡ 畜房の合計面積▲, ▲▲▲㎡
能　　力	１棟：肥育豚２５０頭 ２棟の合計：肥育豚５００頭	繁殖母豚７０頭
配　　置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	~~令和　年　月　日~~	~~令和　年　月　日~~
工事着手予定年月日	令和 ● 年 ● 月 ● 日	令和 ● 年 ● 月 ● 日
工事完成予定年月日	令和 ● 年 ● 月 ● 日	令和 ● 年 ● 月 ● 日
使用開始予定年月日	令和 ● 年 ● 月 ● 日	令和 ● 年 ● 月 ● 日
その他参考となるべき事項	同型の豚舎２棟	

備考

1　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
2　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙2

変更後

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		肥育豚舎１、２、３		繁殖豚舎	
特定施設号番号及び名称		１の２　イ　豚房施設		１の２　イ　豚房施設	
設置場所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添操業の系統図のとおり		別添操業の系統図のとおり	
使用時間間隔		通年使用		通年使用	
１日当たりの使用時間		２４時間		２４時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量		配合飼料　〇〇ｋｇ おが粉　〇〇〇㎥ 洗浄・飲用水　〇〇㎥		配合飼料　〇〇ｋｇ おが粉　〇〇〇㎥ 洗浄・飲用水　〇〇㎥	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	ｐＨ	7.4	8.4		
	ＢＯＤ（mg/L）	5,000	5,600		
	ＣＯＤ（mg/L）	2,500	2,800		
	ＳＳ（mg/L）	7,000	6,800		
	硝酸性窒素等（mg/L）	500	540		
汚水等の量（㎥／日）		通常	最大	通常	最大
		9	11	1.8	2.2
その他参考となるべき事項		既設（肥育豚舎１、肥育豚舎２） 新設（肥育豚舎３）		既設	

60ｇ/頭・日÷12L/頭・日＝5ｇ/L＝5,000mg/L

左の種類・項目は指定地域（児島湖流域）以外に係る排水基準が定められた例です。施設を設置しようとする地域や排水量を確認し種類、項目を記載してください。

12L/頭・日×750頭（250頭増）＝9,000L＝9㎥

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙2

変更前

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		肥育豚舎１、２		繁殖豚舎	
特定施設号番号及び名称		１の２　イ　豚房施設		１の２　イ　豚房施設	
設置場所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添操業の系統図のとおり		別添操業の系統図のとおり	
使用時間間隔		通年使用		通年使用	
１日当たりの使用時間		２４時間		２４時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量		配合飼料　〇〇ｋｇ おが粉　〇〇〇㎥ 洗浄・飲用水　〇〇㎥		配合飼料　〇〇ｋｇ おが粉　〇〇〇㎥ 洗浄・飲用水　〇〇㎥	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	ｐＨ	7.4	8.4		
	ＢＯＤ（mg/L）	5,000	5,600		
	ＣＯＤ（mg/L）	2,500	2,800		
	ＳＳ（mg/L）	7,000	6,800		
	硝酸性窒素等（mg/L）	500	540		
汚水等の量（㎥／日）		通常	最大	通常	最大
		6	7.3	1.8	2.2
その他参考となるべき事項					

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

変更後

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		汚水処理施設							
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり							
設置年月日		~~令和　年　月　日~~				令和　年　月　日			
工事着手予定年月日		令和　○　年　○　月　○○　日				令和　年　月　日			
工事完成予定年月日		令和　○　年　○　月　○○　日				令和　年　月　日			
使用開始予定年月日		令和　○　年　○　月　○○　日				令和　年　月　日			
種類及び型式		汚水浄化処理施設							
構造		鉄筋コンクリート造							
主要寸法		別添構造図面のとおり							
能力		15㎥/日							
処理の方式		活性汚泥法（連続式）							
処理の系統		処理の系統図のとおり							
集水及び導水の方法		別添配置図のとおり							
使用時間間隔		連続							
１日当たりの使用時間		１日２４時間運転							
使用の季節変動		なし							
消耗資材の１日当たりの用途別使用量		消毒剤○ｋｇ、凝集材○kg							
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	ｐＨ	7.4	7.2	8.4	7.5				
	ＢＯＤ（mg/L）	5,000	59	5,600	67				
	ＣＯＤ（mg/L）	2,500	30	2,800	34				
	ＳＳ（mg/L）	7,000	13	6,800	13				
	硝酸性窒素等（mg/L）	500	60	540	80				
	量（㎥/日）	12.2	25.4	14.9	30.8				
残さの種類、１月間の種類別生成量及び処理方法		余剰汚泥（脱水）○○ｋｇ/月 産廃業者に処分委託							
排出水の排出方法		排出口No1→側溝→○○川 位置は別添配置図のとおり							
その他参考となるべき事項		余剰汚泥（脱水）は(株)○○○○に全量委託して産業廃棄物として処分する。							

（処理後BOD量）
5,000mg×豚舎排水12㎥×振動篩のBOD除去率10%×凝集分離の除去率7.4%×活性汚泥処理のBOD除去率97%
＝1,500,100mg
（処理後BOD濃度）
1,500,100mg÷処理後排水量25.4㎥/日
=59mg/L

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
　　２　排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙3

変更前

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		汚水処理施設						
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり						
設置年月日		~~令和　年　月　日~~				令和　年　月　日		
工事着手予定年月日		令和　○　年　○　月　○○　日				令和　年　月　日		
工事完成予定年月日		令和　○　年　○　月　○○　日				令和　年　月　日		
使用開始予定年月日		令和　○　年　○　月　○○　日				令和　年　月　日		
種類及び型式		汚水浄化処理施設						
構造		鉄筋コンクリート造						
主要寸法		別添構造図面のとおり						
能力		15㎥/日						
処理の方式		活性汚泥法（連続式）						
処理の系統		処理の系統図のとおり						
集水及び導水の方法		別添配置図のとおり						
使用時間間隔		連続						
１日当たりの使用時間		１日２４時間運転						
使用の季節変動		なし						
消耗資材の１日当たりの用途別使用量		消毒剤○ｋｇ						
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	ｐＨ	7.4	7.2	8.4	7.5				
	ＢＯＤ（mg/L）	5,000	66	5,600	75				
	ＣＯＤ（mg/L）	2,500	33	2,800	38				
	ＳＳ（mg/L）	7,000	93	6,800	91				
	硝酸性窒素等（mg/L）	500	80	540	90				
	量（㎥/日）	9.2	18.4	11.2	22.4				
残さの種類、１月間の種類別生成量及び処理方法		余剰汚泥（脱水）○○ｋｇ/月 産廃業者に処分委託							
排出水の排出方法		排出口No1→側溝→○○川 位置は別添配置図のとおり							
その他参考となるべき事項		余剰汚泥（脱水）は(株)○○○○に全量委託して産業廃棄物として処分する。							

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

　　２　排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙４

変更後

排出水の汚染状態及び量

別紙３の汚水等が通常の量の場合

別紙３の汚水等が最大の量の場合

排出口名称（番号）		排水口Ｎｏ１		排水口Ｎｏ２（雨水）	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	ｐＨ	7.2	7.5		
	ＢＯＤ（mg/L）	59	67		
	ＣＯＤ（mg/L）	30	34		
	ＳＳ（mg/L）	13	13		
	硝酸性窒素等（mg/L）	60	80		
排出水の量（㎥／日）		通常	最大	通常	最大
		25.4	30.8	0	
その他参考となるべき事項				雨水専用	

備考　排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙4

変更前

排出水の汚染状態及び量

排出口名称（番号）		排水口Ｎｏ１		排水口Ｎｏ２（雨水）	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	ｐＨ	7.2	7.5		
	ＢＯＤ（mg/L）	66	75		
	ＣＯＤ（mg/L）	33	38		
	ＳＳ（mg/L）	93	91		
	硝酸性窒素等（mg/L）	80	90		
排出水の量（㎥／日）		通常	最大	通常	最大
		18.4	22.4	0	
その他参考となるべき事項				雨水専用	

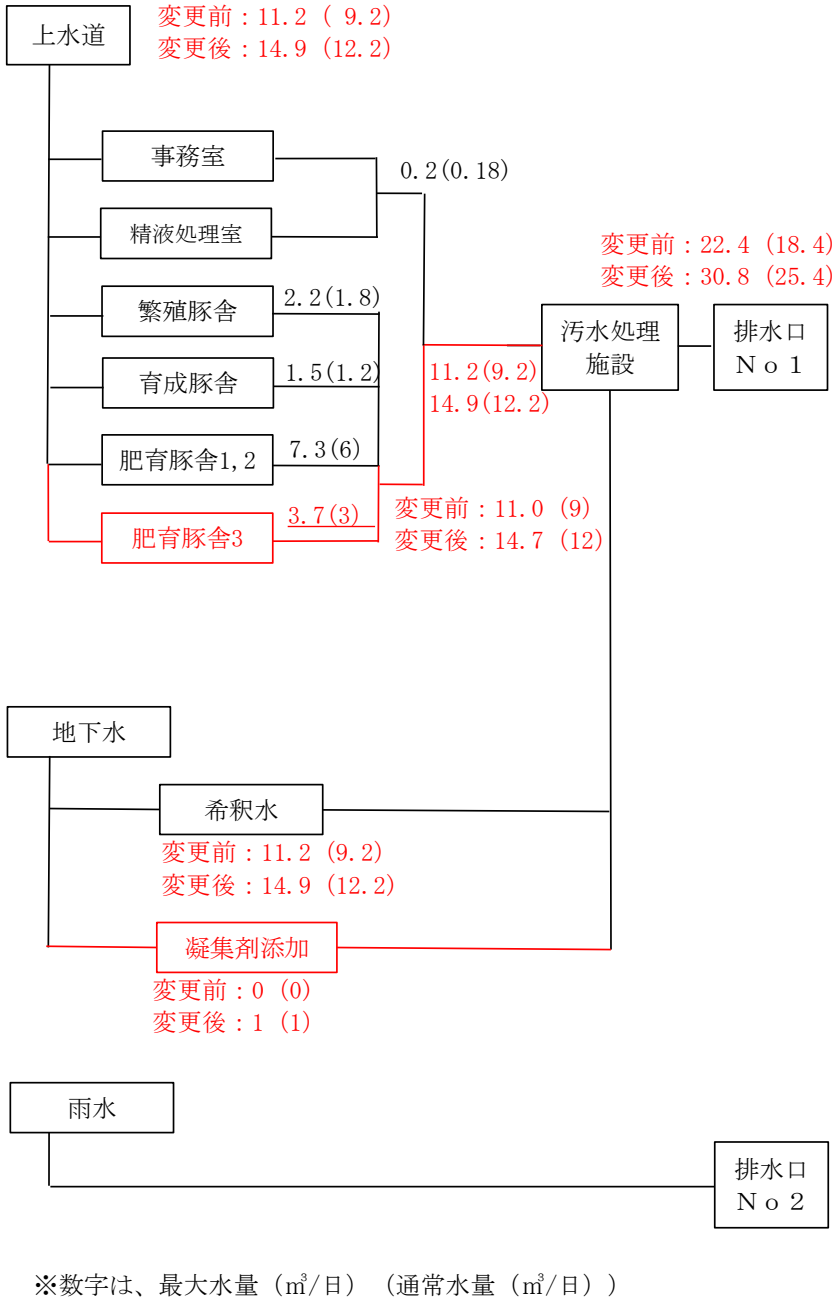
備考　排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙6

変更後

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統



※数字は、最大水量（㎥/日）（通常水量（㎥/日））

用　途　別
用水使用量

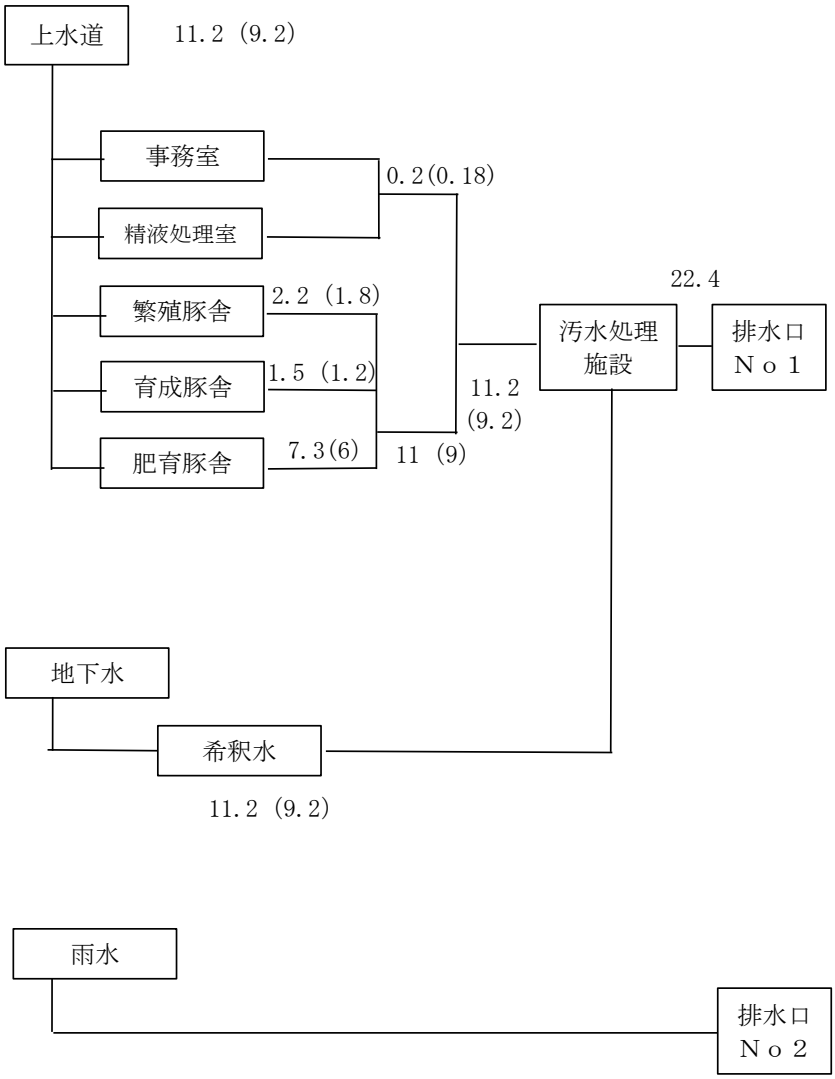
用途	使用水	用水使用量（㎥／日）
事務所、精液処理室	上水道	0.2(0.18)
豚飲用、洗浄水	上水道	14.7（12）
希釈水	地下水	14.9（12.2）
凝集剤添加水	地下水	1（1）

別紙6

変更前

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統

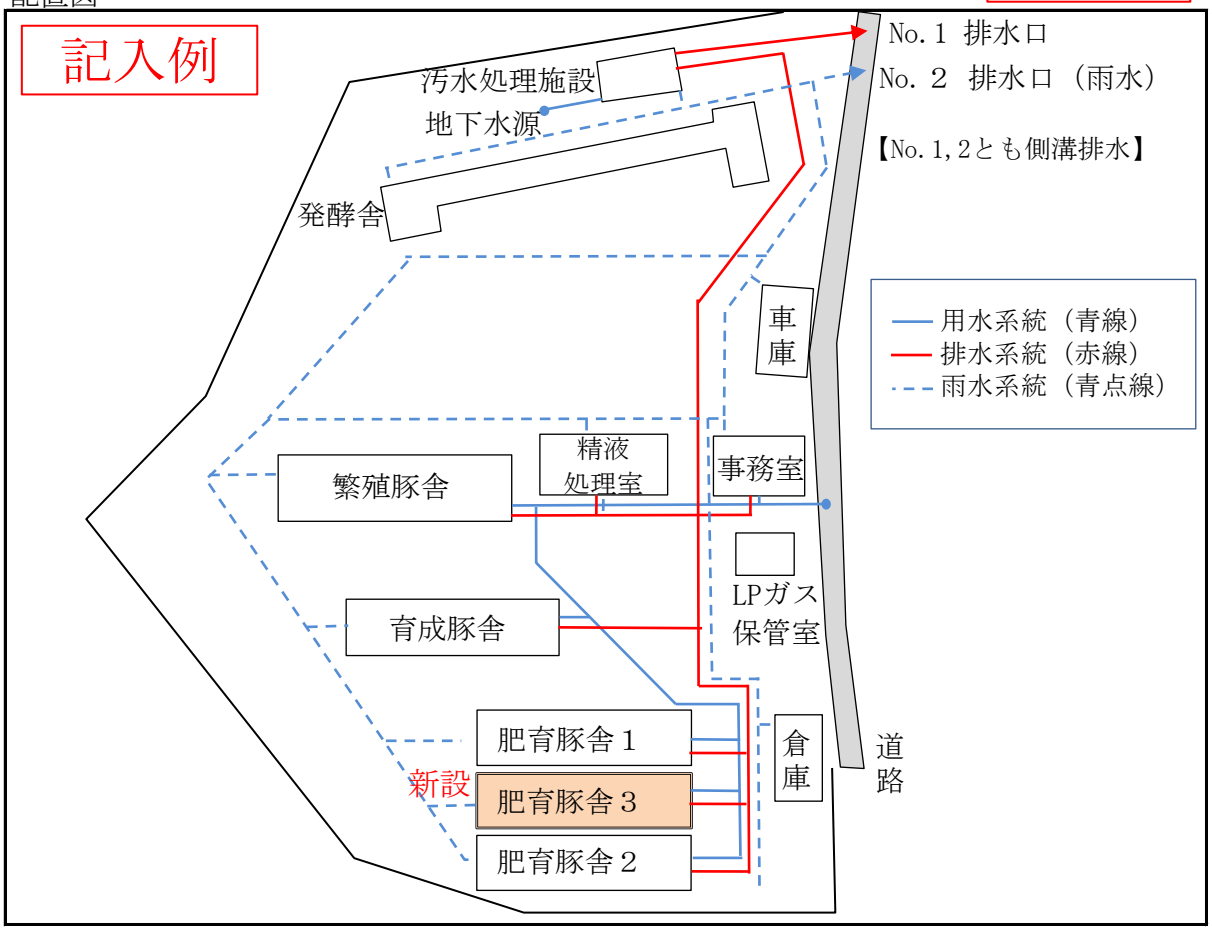


用途別用水使用量

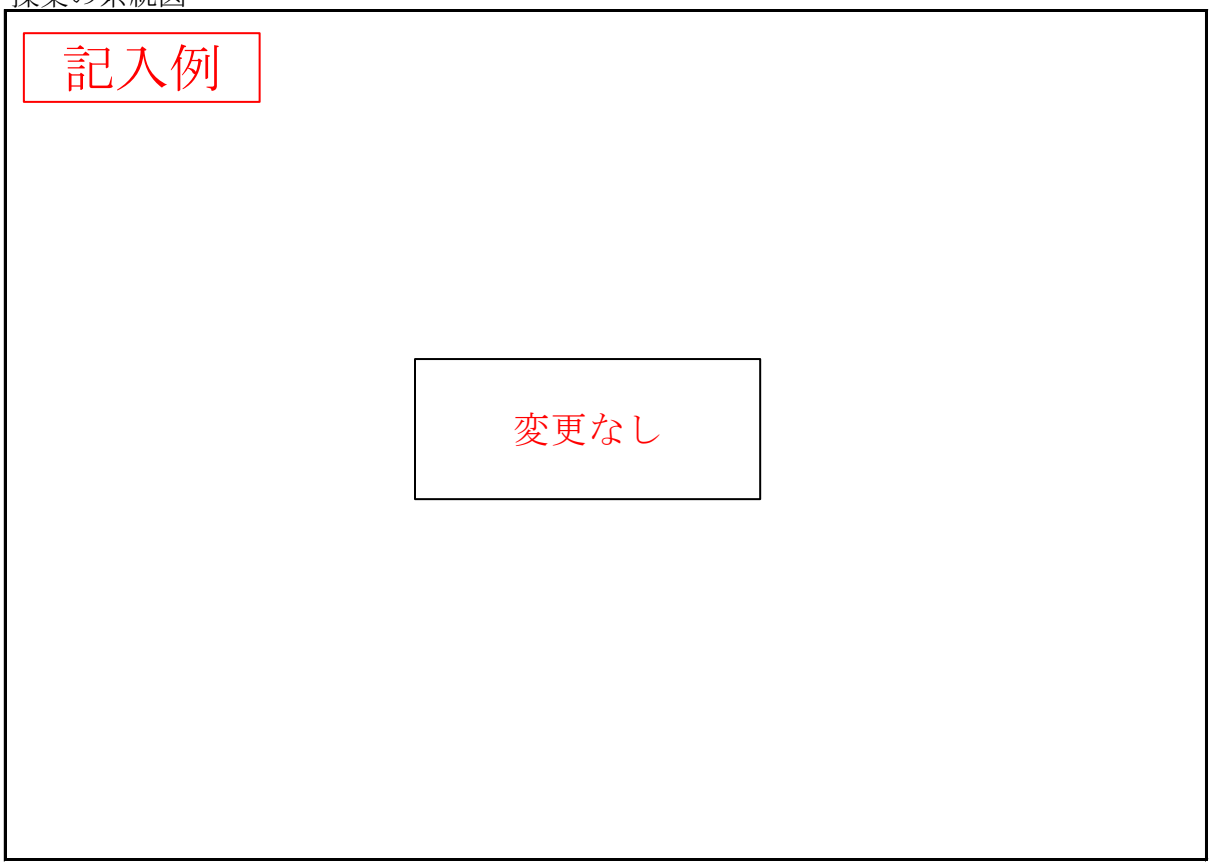
用途	使用水	用水使用量（㎥／日）
事務所、精液処理室	上水道	0.2(0.18)
豚飲用、洗浄水	上水道	11.2(9.2)
希釈水	地下水	11.2(9.2)

配置図

変更後

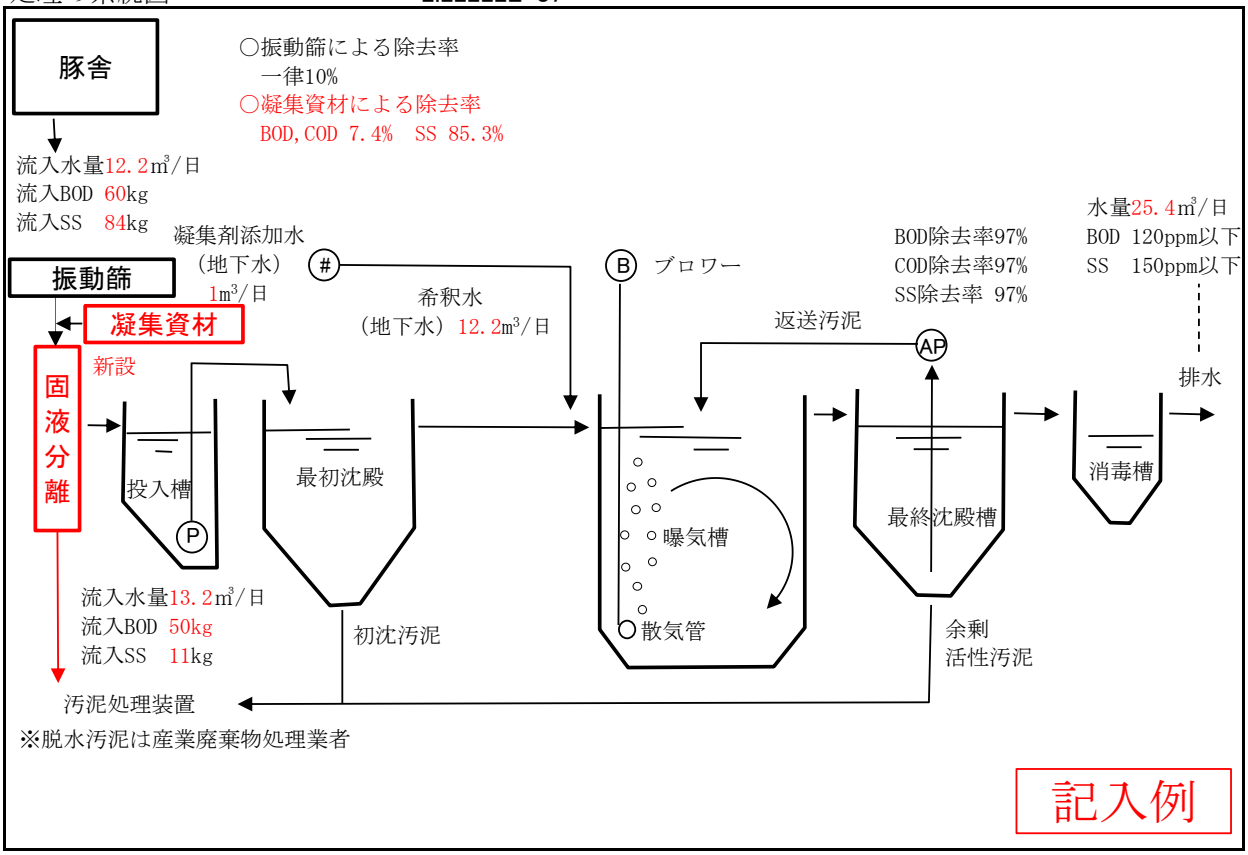


操業の系統図



変更後

処理の系統図　2.22222E+87

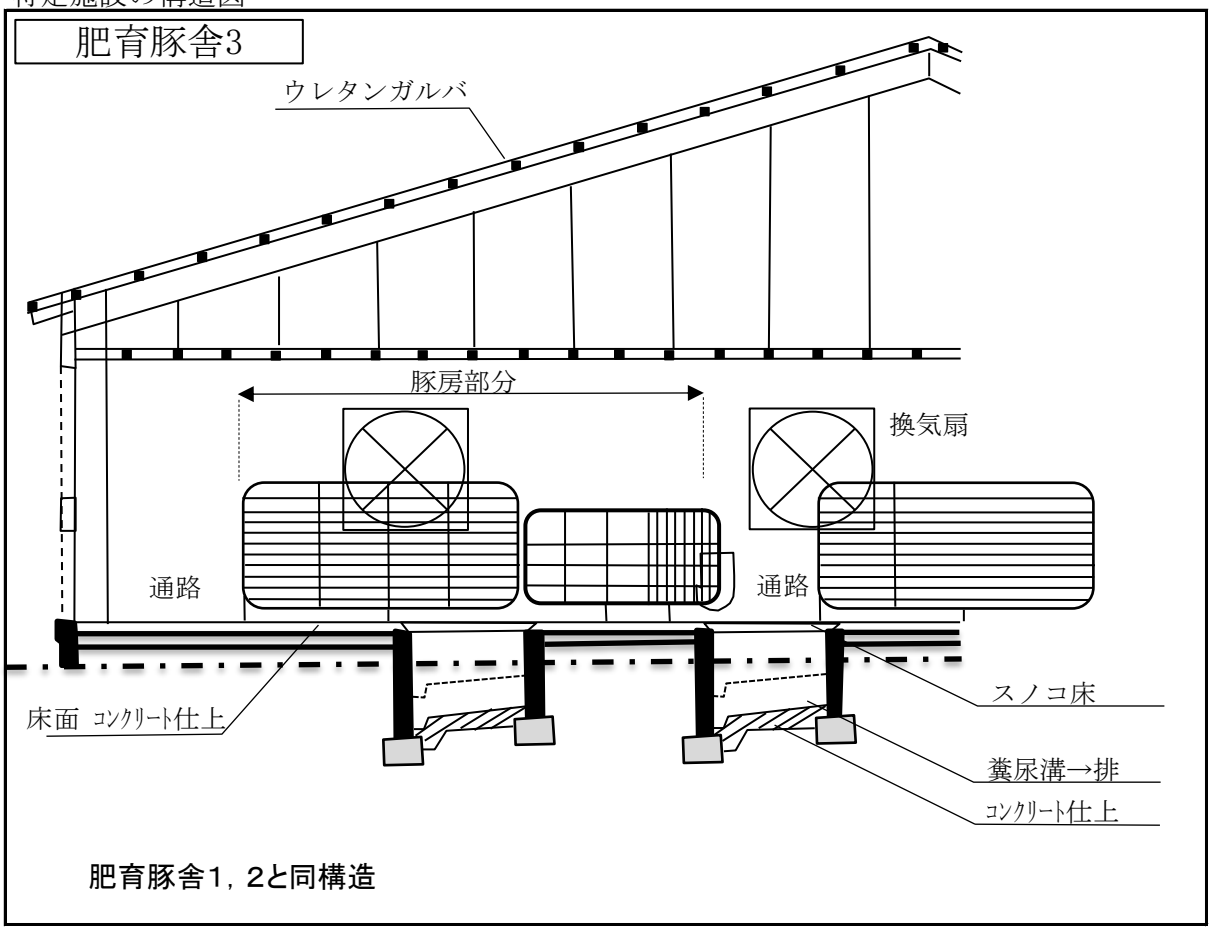


農場周辺見取図

変更なし

記入例

特定施設の構造図



汚水処理施設の構造図

変更なし